

なかしべつ 議会だより

No.145
令和7年4月



令和7年2月16日(日) 第31回中標津町福祉のつどい(コラボ企画)
「ぼれぼれ前向きダンサーズ」 & 「別海スワンの家ジュークボックス」音楽とダンスショー

主な内容 3月定例会 (P2)

予算審査特別委員会 (P3～5)

委員会代表質問 (P6)

一般質問 (P7～10)

議会ホームページ



3月定例会 全議案可決とならず

条例改正案など

議案第26号を否決 (詳細はP13)

中標津町安全で住みよいまちづくり条例の一部を改正する条例

令和7年3月定例会を3月3日から13日まで開催。補正予算および条例、
令和7年度各会計予算などの議案について審議し、議決しました。

■令和6年度中標津町各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第8号）

1億7300万4千円を増額し、総額168億6373万9千円となりました。

(単位：千円)

	総務費	民生費	衛生費	農林業費	商工費	土木費	教育費	計
補正額	△ 12, 954	△ 34, 476	5, 056	△ 133, 531	△ 6, 278	△ 68, 815	156, 940	△ 173, 004

【主な事業】

《地域防災緊急整備事業》

【事業費：680万2千円】

器具費（ワンタッチベッド150台）車両購入経費等（資機材運搬用車両1台）

《児童デイサービスセンター冷房設備整備事業》

【事業費：198万円】

相談室他3カ所にエアコン設置

《学校施設等冷房設備整備事業》

【事業費：2億3000万円】

3小学校・計根別学園に冷房設備設置（普通教室・多目的室・職員室・校長室）

- ◇国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）：事業費の確定による増額補正
- ◇後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）：事業費の確定による減額補正
- ◇介護保険事業特別会計補正予算（第4号）：事業費の確定による減額補正
- ◇水道事業会計補正予算（第2号）：事業費の確定による減額補正
- ◇簡易水道事業会計補正予算（第2号）：事業費の確定による減額補正
- ◇下水道事業会計補正予算（第3号）：事業費の確定による減額補正
- ◇町立中標津病院事業会計補正予算（第3号）：事業費の確定による減額補正

■条例制定

- ◇中標津町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例制定

■条例の一部改正

- ◇中標津町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定
- ◇中標津町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇中標津町水道事業布設工事監督者を配置する工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇中標津町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定

予算審査特別委員会

前年度比2.7%増

各会計総額予算 310億9427万6千円

一般会計	163億8600万円
特別会計	47億9806万8千円
公営企業会計	99億1020万8千円

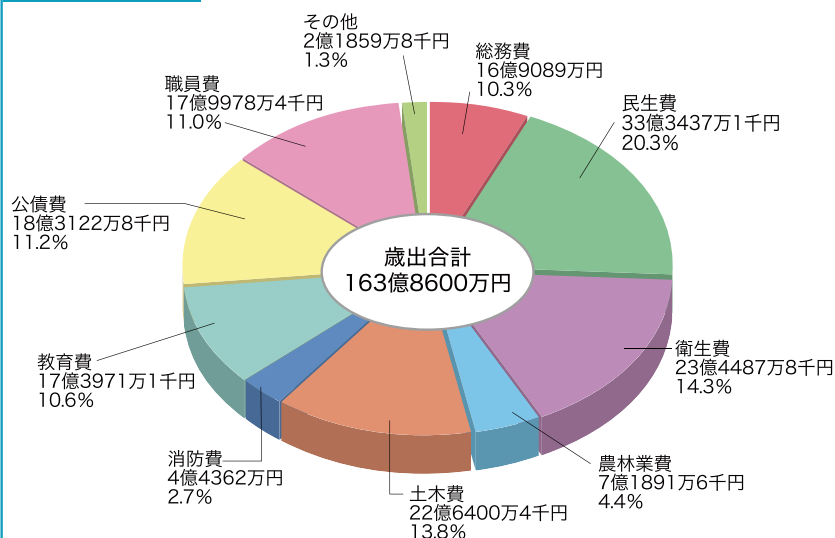
過去最高額

令和7年度一般会計予算、各特別会計予算、各公営企業会計予算、ならびに関連する条例制定については、予算審査特別委員会（平山光生委員長）に付託されました。

委員会は3月4日・5日・10日・11日の4日間にわたり開催され、慎重かつ熱心に審議が行われました。

3月13日定例会最終日に、結果報告、質疑、討論となり、長瀬豊議員、佐久間ふみ子議員が賛成討論を行い、採決の結果、全会一致により、原案どおり可決されました。

一般会計予算 その他のうち、議会費9802万5千円(0.6%)



主な事業

- 行政デジタル化推進事業
- 照明灯LED化整備事業
- 若者定住促進事業
- まち・ひと・しごと創生推進事業
- ふるさと応援制度推進事業
- 耐震化促進計画改訂事業
- 障害福祉サービス等事業所開設準備補助事業
- 介護人材確保育成支援事業
- 外国人介護人材確保補助事業
- 子育て世帯負担軽減給付事業
- 新規就農者確保対策事業
- OGIGAスクール構想推進事業（小・中）

関連する条例

- 中標津町手数料条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町公園条例の一部を改正する条例制定
- 中標津町営体育施設設置条例の一部を改正する条例制定



令和7年

予算審査特別委員会 一問一答



総務部所管

◆情報発信推進事業



【質問】町民と共生するための交通ルール、治安維持につながるような周知はどのようにしていますか。



【答弁】お任せですか。それとも行政側も参加して3者で行なっていますか。

【質問】シヨンを図れる場合は設定してありますが、返礼品提供事業者の理想になる形でバージョンアップしていきたいと考えています。

◆屋外拡声装置設置事業



【質問】

【質問】設置される図面では、バッテリーなどが入っているところの1.5メートルぐらいの高さで、子どもでも手が届く高さです。周りに柵を作るなどの安全対策は。

【答弁】

【質問】機器収納箱は、ステンレス製の箱で扉は常に施錠し、いたずら防止対策を講じる考えでいます。

経済部所管

◆多文化共生推進事業

【質問】一部外国人が危険な自転車運転をしていて心配。この声を聞いています。

【質問】現在、中標津警察署では、管内の外国人技能実習生に対し、日本の法律、それ以外の母国語に翻訳された啓発、広報資料を配布し、また実技指導するなどの取組を行っています。岩谷学園日本語学校では、警察署の方を学校に招いて、自転車の乗り方や冬道の講習を行なっています。本町では、CIR(国際交流員)2名が共生社会実現に向けた取組を進め、ごみの分別資料、文化会館や図書館の利用への理解を深める取組なども行なっています。



【答弁】

◆地産地消推進事業



【質問】

【質問】具体的な地産地消の取組は。具体的にはホームページ

【質問】町民生活部所管

町民生活部所管

◆施政方針



【質問】

【質問】介護人材の確保は喫緊かつ深刻な課題です。資格取得可能な学校や分校などの誘致は検討していませんか。

【答弁】

【質問】資格取得可能な学校や分校等の誘致は検討していませんが、道内の介護福祉専門学校など包括連携協定を結び、介護人材の育成確保を検討していきます。

◆生活バス等運行事業

【質問】11月の常任委員会でも市内線のバス停について質疑をして、バス停が片側

【質問】町の公式LINEは開設当初からホーム画面のメニューが見直されていません。昨年、町でダイヤルインが導入されましたが、素早く電話番号を探すツールがありません。LINEの利便性に期する見直しの考えは。

【答弁】

【質問】公式LINEのトップメニューの改修作業が滞っています。現在、防犯情報のボタンに変更を検討しています。電話番号の検索機能も調査したいと考えています。

【質問】

【質問】この機会に低額な有償版に移して、住民からの意見を集められるような機能をつける考えは。

【答弁】

【質問】現在、双方の形でできる仕組みを導入することは、現時点では検討し

◆まち・ひと・しごと創生推進事業



【質問】

【質問】協力隊員が2種類の目的で12名とされている根拠は。

【答弁】

【質問】企業派遣型は、ふるさと開拓ラボ様との協議で最大10名の体制を構築していくものです。委託型フリーミッション型は初めて取り組むので、まず2名から始めて、状況を見ながら広げていく考えです。

◆ふるさと応援制度推進事業

【質問】今、61事業者との関わりは、全て中間事業者に

しかないところがあり、実際に走って新設の必要性を判断していくとの説明でした。令和7年10月から実証運行に向けて動き出しますが、高齢者や身体の不自由な方が利用しやすいように、バス停とバス停の間隔を短くして利便性の向上を図ることは、考えていますか。



【答弁】

バス停は現在のバス路線を軸として、よりきめ細かく市街地を運行する形を想定しています。現在のバス停よりも間隔を短くしたり、新設等を行う予定で利便性のある形で乗降できるように考えています。

【質問】

町民との意見交換は、どのような形で開催する予定ですか。

【答弁】

具体的な日程等はまだ決定していませんが、実証運行開始が令和7年10月からですので、あまり周知の遅くならないように夏頃の開催を考えています。

◆介護人材確保育成支援事業

【質問】

補助対象研修及び対象

経費の項目が増えていますが、この項目は現場の声を反映された研修項目となつていきますか。



【答弁】

中標津町介護保険事業者協議会から要請のあった全ての資格に係る研修等として実施を予定しています。

【質問】

人数の算出も要請のあった人数ですか。

【答弁】

予算計上に当たり、町内介護サービス事業所へ対象者の見込調査を実施し、その調査結果をもとに算出しています。

【質問】

以前、就業までの調査実施への質問をしました。が、調査はしていないとのことでした。今回の予算では初任者研修等が行いますが、研修受講者が就職に至ったかの調査は行いますか。

【答弁】

毎年、町内介護サービス事業所へ介護人材確保に関するアンケート調査を実施しています。その調査結果、本町が実施した介護職員初任者研修を受講した就業した方を報告いただく予定です。

◆成年後見事業



【質問】

今年から中核機関が創設されますが、町単体で行われる事業ですか。設立までの経緯も含め教えてください。

【答弁】

これは町単体の事業です。経過は中核機関設置に向けて単独が広域、振興局や道社協の勉強会、近隣市町村との意見交換会などで検討を重ねました。4町で広域との話もありましたが、早いうちに別海町が別海町社協に単独設置を決め、本町も既に成年後見支援センターを町社協に委託している経緯もあり、社協と中核機関となる場合の業務の精査等、検討会を重ね単独設置となりました。

◆児童デイサービスセンター運営管理事業



【質問】

子どもの発達支援事業の心理士人員体制に変化はありましたか。

【答弁】

心理士は大きく2つの資格があります。国家資格の公認心理士、民間資格の臨床心理士ですが、いずれの資格も大学院での履修が必須です。現在も募集していますが、応募がない状況です。来週、認定施設である大学の教授を訪ね、中標津への紹介を依頼してまいります。

◆不妊治療助成事業



【質問】

この事業は大切な事業で続けて実施していただきたい事業です。過去から今まで、おめでたい報告事例はありましたか。

【答弁】

令和5年度から先進医療への助成を開始したこともあり、申請件数は増加し、妊娠される方も増加しています。令和5年度実績は19件でしたが、令和7年2月末現在45名の申請があり8名の方が妊娠され出産予定となっています。

◆地球温暖化対策実行計画推進事業



【質問】

LEDの照明交換施設に冷房設備を設置するものもありますが、CO2はどの程度削減されますか。また、トータルでどの程度増加してしまうのか検証すべきでは。

【答弁】

一般論ですが、LED化により7割から8割減になること、電気料金も6割程度減になるという設備に関しては、冷房がなく、機種や性能、規模が変わってきますので、現時点で計算できない状況です。令和8年度に温暖化対策実行計画が中間年度で見直しを予定しています。

◆教育委員会所管

◆教育行政方針



【質問】

農業高校による、光合成細菌の土壌からの分離・培養、それらの機能評価、効能評価は広く町内の経済界や研究施設と共同で取り組む、町全体に経済的成果を及ぼす可能性のある開発行為ではないでしょうか。また、経済界や農業界、農業協同組合、町民が行っている菜園への波及効果や様々な部分の働きかけが必要だと思えますが、その見解は。

【答弁】

光合成細菌プロジェクトは、植物活用研究の野菜班が行っているもので、地場産野菜の普及と動が目的です。幾つかの段階を経て、中標津地方市場、計根別農協、飲食店と連携するところまで進めることができています。また、恵庭にある微生物資材メーカーが、光合成細菌のバイオキットを現在開発研究中です。このプロジェクトは来年度も継続予定です。

【質問】

ぜひ中標津町として、この分野に注目して協力体制を今後つくり上げていく視点で議論を進めていただきたい。

【答弁】

このような研究が、研究機関等にしっかりと採用されているのは、農高の将来にとって非常に明るい話題ですので、ぜひ注目して見守っていきたく考えています。

3月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について

教育行政報告

1. 各種大会等の出場結果について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

委員会 代表質問

委員会代表質問の全文をこちらのホームページに掲載しています。



<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/iinkaidaihyousitumon/>

総務経済 常任委員会

質問

野犬対策と犬猫保護のあり方について



えぐち ともこ 議員
江口 智子

質問1

昨年町内で発生した野犬による牛の被害は、死亡9頭・負傷21頭と30頭にも上ります。

箱わなには近づくかず、愛護団体寄贈のトラップで人慣れさせて捕獲という手段も即効性がありません。

野犬の捕獲と保護は、今以上の対策のために知見を活用すべきではないでしょうか。

町長答弁

野犬の被害は深刻な状況で、町職員による捕獲も思つような成果が得られていません。

トラップの寄贈者には心から感謝申し上げますが、道具だけでは根本的な解決に繋がらないため、野犬対策など専門性を有

する方からのアドバイスをいただけるか模索します。

質問2

役場で保護した犬猫は、愛護団体が医療費など負担し世話をしていますが、補助金の活用やふるさと納税の使い道の見直しなど、かかった経費への対策が必要ではないでしょうか。

町長答弁

現在、補助金の活用には至っていないが、餌やペットシート代はこれまでどおり役場で負担します。

その他の経費は、予防注射・駆虫薬・避妊・去勢・療養など愛護団体と協議のうえ、譲渡を受ける方から負担していただく仕組みづくりを検討しています。

ホームページの譲渡情報にその旨を表示する予定です。

ふるさと納税の使い道は今後見直し予定ですが、愛護団体が返礼品事業者として直接寄付を募ることも可能です。

意見書



詳しい内容はホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出しました。

介護報酬改定に伴う訪問介護の基本報酬引き下げの早急な見直し等を求める意見書

提出者 ^{あべ}阿部 ^{たかひろ}隆弘 議員

持続可能な学校の実現をめざす意見書

提出者 ^{あべ}阿部 ^{たかひろ}隆弘 議員

一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。
<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 各ハラスメント対策の的確な対応を

答弁 本町の実情に応じた取組を推進してまいります

^{あべ}阿部 ^{たかひろ}隆弘 議員

質問

パワーハラスメント・セクシャルハラスメント・妊婦、出産、育児又は介護に関するハラスメントは、国家公務員には、人事院規則によりその防止と運用が規定されています。

また、カスタマーハラスメント対策のためのポスター掲示等取組を始めていますし、北海道では条例を制定しました。

地方公務員も総務省通知が示され、本町では防止に関する要綱が制定されていますが、改定する必要があります。

カスタマーハラスメント対策としては、ポスター掲示や電話での音声案内による録音の実施も必要と考え



町長答弁

ます。各種ハラスメント対策の取組状況調査結果と今後の取組について、町長の考えをお聞かせください。

新たな課題である各種ハラスメントへの具体的な対策を明確に示すためにも要綱改正の必要性を感じていますので、できるだけ早い時期の改正を目指してまいります。

音声案内は、ダイヤリオン導入に伴い更新した電話機に録音機能が搭載され、必要に応じて録音できる環境を整えたところですが、十分な対応が難しく、特に高齢者や緊急性の高い問い合わせには、その時間口スが不安や不満を増幅させることが懸念されます。

ハラスメントは、個人の尊厳を不当に傷つけ、貴重な人材損失にもつながる問題で、職員が安心して働ける職場環境を実現するため、本町の実情に応じた取組を推進してまいります。

質問 誰もが投票できる環境作りを

答弁 準備が整い次第実施します

えぐち ともこ 議員



質問1

投票台が硬く字が書きにくい、候補の名前が多すぎて字が見えない、代筆してもらえないが誰に投票するか聞かれたくない等の声が聞かれます。

高齢者や障害を抱えた方にとっても投票しやすいよう、投票支援カードやコミュニケーションボードを導入してはいかがですか。

選挙管理委員会書記長答弁

これまでも拡大鏡や車椅子を始め、昨年8月の町議選以降、一部の記載台にマットを設置するなど対応を行っています。

今後さらに高齢者の来場が多くなることを考慮し、議員ご提案の投票支援カードやコミュニケーションボードの導入について先進事例の研究を進め、準備が整い次第実施したいと考えています。

質問2

期日前投票所の整備と合わせて、移動期日前投票所の実施についてうかがいます。

標茶町では高齢者福祉施設前で入所者やヘルパー職員が、高校前では主権者教育に続いて、生徒や教職員が投票する等が実施されています。

こうした事例を参考にしたいかがでしょうか。

選挙管理委員会書記長答弁

高校生に対しては、期日前投票所の充実を図り、立ち寄りやすい環境づくりを狙った取組をしています。

現時点で介護施設職員を対象とした取組はしていませんが、効果効率の観点から慎重に判断する必要があると考え、本町の実情に合った効果的な方策を引き続き研究してまいります。

質問 入湯税に対応する歳出のありようの検討を

答弁 観光振興の枠組みの中で検討してまいります

まつむら やすひろ 議員



質問

コロナ禍により停滞していた観光客の入込が復活して、入湯税が1000万円を超える状況になりました。

当町の入湯税は創設以来ずっと一般財源の歳入として処理されています。

本来は、温泉施設を運用し、施設の整備や観光促進などの温泉に関する目的にかかる費用を、温泉利用者に負担してもらう、地方に徴税権を付与した目的税です。

しかし、町中に目に留まるような湯の町の佇まいを感じさせる取組や、温泉による健康増進の取組もほとんど見当たりません。

この際、この目的税の本来の趣旨に則り、関係者の参加を促し、アイデアを募

り、支出を委ね、出湯の郷として、中標津町を積極的に演出すべきときではないかと考えますが、町長の見解をお聞きたいします。

町長答弁

当町では、鉱泉浴場の宿泊客一泊150円・日帰り70円の入湯税を課税して、鉱泉浴場の経営者である特別徴収義務者に申告、納付をいただいています。

令和5年度の入湯税1241万円は環境衛生施設整備、消防施設等整備、観光施設の整備、観光振興に要する経費、計4798万円の一部として充当し、毎年町広報紙10月号を通じてお知らせしています。

観光振興にかかる地域戦略は、観光や宿泊業など関係産業界が連携し、足並みを揃えて事業を構築していく必要があり、観光振興の枠組みの中で検討してまいります。

他の一般質問

●地域活性化起業人派遣事業に対応する町民側の組織構築を

質問 新規の狩猟免許取得者に支援を

答弁 支援策を具体的に検討してまいります

くりす しょうすけ
栗栖 陽介 議員



質問

エゾシカ・ヒグマによる被害は、当町の畑作農家の例では作物の芽や苗をエゾシカが食い荒らす被害があります。

酪農の例では、デントコーン・牧草の被害が甚大です。

以上の人身被害・農作物の甚大な被害は、当事者にとっては命や経営にかかわる大問題であり、未然に防ぐしか守ることはできません。

猟友会中標津部会の20〜30代が3名しかいないという点に危機感を感じ、なぜ若い人のなり手がいないのかを聞くと、免許取得費用が高額過ぎて取得できないとの返答でした。

ハンターになるための費用は、約74万円もかかります。これは、生命と財産の被害を守ってくれる次世代のハンターの不足に大きく関わる原因です。以上のことを踏まえて、新規の狩猟免許取得費用の補助をするべきかと思いますが、町長のお考えはいかがでしょうか。

町長答弁

動物による被害は、人命の危機や農作物の損害等、町民の日常生活に影響を与える問題であり、地域経済全体に影響を及ぼす問題と考えています。

このため、有害鳥獣駆除を担う従事者が減少することは本町の大きな損失です。

免許取得費用が非常に高額なことが若い人の参入を妨げる現状は、大変懸念すべき事態です。

新規の狩猟免許取得者に対する支援策を具体的に検討してまいります。

質問 子育て世帯の負担軽減に向けたリユーススペースの設置を

答弁 実施に向けて早急に体制の整備を進めてまいります

ひらやま ひろみ
平山 光生 議員



質問

赤ちゃんに必要な衣類や育児用品は、期間限定となってしまうものも多く、安い時期に購入しても季節が合わず、使用できないこともあります。

子どもが成長するにつれて、使わなくなったベビー用品や衣類が家庭に残る一方で、それを必要とする家庭も多くあります。

そこで役場や保健センター・みらいなどの公共施設に、不要となったベビー用品や衣類を譲り合えるリユーススペースを設置してはいかがでしょうか。

町長答弁

近年の物価高騰等により、新たな衣類などを購入しづらい家庭もあり、不要

となった家庭からの譲渡は、リユースの観点からも有効な手法と考え、実施に向けて早急に体制の整備をしていきたいと考えています。

また、各児童館の子育て親子の交流の場を最大限活用し、譲渡スペースの設置および周知を行うことで、子育てサークルの拡大、子育て親子の支援になると考えています。

不要物の収集や情報提供等は、役場や保健センターとも連携を取りながら進めてまいります。

再質問

妊娠時からリユーススペースに足を運ぶことができれば、不安の解消や切れ目のない支援につながります。

産婦人科などの待合室や役場にポスター等の掲示や妊娠時に必ず渡す書類への情報の記載は可能でしょうか。

町長答弁

よりスムーズな体制づくりに努めてまいります。

質問 高齢者の見守り体制の強化を

答弁 見守るネットワークの構築に努めてまいります

佐久間 ふみ子 議員

質問



全国的に高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、地域での見守り体制の強化が求められ、特に孤立や急病の際の対応・日常的な安否確認の仕組みづくりが重要です。

最近、本町では民生委員・町内会等による見守り支援など行われていますが、担い手不足や対応の限界が指摘されています。

高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせる環境を整備する取組を、ICTを活用した新たな見守り体制の導入や地域との連携強化による持続可能な見守りネットワークの構築が必要では

ないでしょうか。
また、今後の強化策として、どのような取り組みを検討されているのか、うかがいます。

町長答弁

本町における高齢者見守り体制は、独居高齢者に緊急通報装置を貸与し、情報処理センターと24時間結び、家庭内で発生した緊急事態の連絡援助体制を確立し、日常生活における不安解消に努めています。

必要とされる方に情報が届くよう周知を図ってまいります。

現在、宅配やコンビニ事業者・新聞販売店など民間事業者7社と連携協定を結び、不測の事態を未然に防ぐ取組を行っています。

今後も他の民間事業者と連携を進め、見守るネットワークの構築に努めてまいります。

また、ICTを活用した新たな見守り体制の導入は、その有効性などを研究してまいります。

人事案件

副町長の選任について同意しました



えんどう としかつ 氏
遠藤 俊勝 氏

任期 令和7年4月1日から
令和11年3月31日

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました



にへい たかし 氏
二瓶 隆司 氏

任期 令和7年3月23日から
令和10年3月22日

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて適任と認めました



おとかわ ただし 氏
音川 忠志 氏

任期 法務大臣委嘱の日から
3年間



いとう ひでのり 氏
伊藤 秀則 氏



やま だ かずひろ 氏
山田 和広 氏

全員協議会「防災力アップ講座」

日時：3月13日(木) 14:00～15:00

場所：中標津町役場 3階 301号会議室

第5回の講座は、防災士でもある江口智子議員に講師を依頼し、防災係・教育委員会のご協力を受け、災害図上訓練「D I G」を行いました。

中標津町の住宅地図にハザードマップの情報や公共施設・避難所等色別にマッピングするだけでも、地域の状況が可視化されます。

さらに、想定された大雨災害の情報をもとに、考えられる被害や対応策をグループで話し合いながら付箋紙に書き出すことで、十分だと思っていた避難訓練や備えに不足している事項が次々と浮かび上がってきました。



「避難指示のアナウンス」「避難の手段」「要支援者の避難や避難後の連絡」「情報の整理」等地域の課題だけではなく、日頃の心構えや連絡体制、町の課題も明確になり、楽しみながら防災から減災への意識を深めることができました。

また、中標津町まちづくり出前講座でも「D I G」の受講が可能のため、今後は各町内会単位での開催等率先して多くの地域に広がっていくきっかけとなりました。



総務経済常任委員会 委員長 ひらやま ひろみ
平山 光生

令和6年度 釧根林活連絡会議研修会

日時：2月18日(火) 13:30～15:00

場所：釧路工業技術センター 会議室

講演：『北海道における森林由来J-クレジットの取組状況等について』

講師：北海道 水産林務部 森林海洋環境局 森林海洋環境課
環境調整係 主査（環境調整） 木村 和氏

当町でも、取り組んでいる森林由来J-クレジットの全国・道内取組事例の説明を受けました。

北海道では、地球温暖化防止の寄与・自然環境の保全のために、温室効果ガス排出量と森林等によるCO₂吸収量のバランスを取り「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロとすることを目指す」取組を推進しています。

当町町有林（格子状防風林）の間伐促進プロジェクトや木の若返りのために、町民参加の植樹祭も大きく貢献していることを学びました。

中標津地域森林・林業・林産業活性化議員連盟
副会長 まつの みやこ
松野 美哉子議員



道内視察研修報告



総務経済常任委員会

中札内村・芽室町web・音更町・弟子屈町

令和7年2月3日(月)～5日(水)

●ふるさと納税 中札内村・芽室町・弟子屈町

いずれも海無し地域で寄付を伸ばしています。特長は、募集サイトを増やし流行に対応しています。ワンストップ申請以外は中間事業者に委託し、サイト登録なども任せています。新規返礼品を増やすために、事業者との情報交換・事業者同士のコラボレーションによる新商品開発・事業者との信頼関係の構築・特産品のカラーコンテンツ化・強力な広告と継続した魅力発信など、共通の取組がありました。



●ふるさと納税クラウドファンディング 中札内村

新規起業・事業拡大への後押しを行い、地域事業の発展につながるものでした。



●地域おこし協力隊インターン 中札内村

U・I・Jターンに有効でした。

●地域活性化起業人 芽室町

十勝圏ブランド力・食材をうまく活用していました。本町も着任された起業人と展開していきたいと思いました。

●北海道動物愛護センター道東センター 音更町

これまで保護された猫の譲渡率は高いですが、1年ごとの競争入札のため先が見通せないことから、犬の施設まで手が出せない状況となっていました。



総務経済常任委員会 委員 ながぶち ゆたか
長瀬 豊

文教厚生常任委員会

帯広市・美幌町・網走市

令和7年1月27日(月)～29日(水)

●帯広第一病院「PNS看護方式」 帯広市

通常の自己完結型の看護から、看護師がペアを組み、対等な立場で相互に補完し協力し合うパートナーシップナーシングシステム(PNS)看護体制は、前向きな思考で問題解決につながる考え方のもと、チーム医療として理想的なシステムであると感じました。



●帯広市教育委員会「ひろびろチョイス」 帯広市

不登校児童生徒の多様な学びの確保として、デジタル技術を活用したオンライン教育支援センター「ひろびろチョイス」は、ネットがつながる端末からログインし、アバターを使いバーチャル空間で学びのスタイルも自由に選択でき、一定の時間を過ごす居場所として有効な取組であると感じました。



●「申込バス・もーびー」を含む地域公共交通の取組 美幌町

乗車前に電話で申込むデマンド型公共交通「申込バス・もーびー」は半径200m以内に一か所の専用バス停を設置し、最短ルートで移動できるよう利便性を図っていました。

●オホーツク古代文化 網走市

北海道最古の郷土博物館とモヨロ貝塚館のオホーツク古代文化を視察してきました。



文教厚生常任委員会 副委員長 さくま こ
佐久間ふみ子

私たち議員15人と『対話』しましょう ♪ ワールドカフェ方式で開催します!!

「議会報告会」 *Nakashibetsu* 議会 ミルク Café

7月27日(日) (同日2会場で開催します)

計根別会場 交流センター

13時00分～15時30分 (受付12時30分より)

中標津会場 しるべっと

18時30分～21時00分 (受付18時00分より)



令和5年度開催の様子

町長提案の議案を否決

本定例会で条例の一部改正が否決されました。

3月4日(火)、定例会2日目に町長より提案された議案第26号「中標津町安全で住みよいまちづくり条例の一部を改正する条例制定について」の提案理由の説明を受けました。

その後、休会中各常任委員会の審査を経て、松村康弘議員より議会運営委員会に反対討論の申し出があり、3月13日(木)、定例会3日目に本件への質疑後、反対討論が行われました。その後の採決により起立少数(賛成6・反対8)により原案は否決されました。

これまでの議会では予算・条例についても「簡易表決」を採用していましたが、改選後、議員一人一人の賛否を明らかにするため、起立採決を基本とする採決方法へ変更していました。



まつむら やすひろ
松村 康弘 議員

反対討論の要旨：本提案は第10条の(協議会の設置)で町長が推進協議会を設置すること、同条第2項で協議会は町長に対して意見を述べるができる「町民の権利」を規定している。このような条例を改変するには自治基本条例に規定しているように、町民の声をしっかり聴く必要があるのではないか。

議会だよりをお読みの皆様へ

限られた誌面の都合上、掲載できない下記開催の議会内容は、中標津町議会ホームページからご覧いただけます。

●第1回臨時議会(1月24日開催)

●広域連合・一部事務組合の議会(2月28日開催)



総務経済常任委員会

活動レポート



総務部

●防災について

2月15・16日の両日、計根別交流センターで、大規模災害を想定した「真冬の避難所体験」が実施されるこの報告を受けました。

委員 申し込み状況は。

担当 現時点で、小学生を含む9名の宿泊体験申し込みがあります。



避難所設営準備の様子

●ふるさと応援制度推進事業について

令和6年度の速報値として、寄附件数8942件、寄附金額1億7500万円で、いずれも前年比171%となったことが報告されました。

委員 旅先納税の検討状況は。

担当 現地決済されなかった際のサイトでのポイント利用など、詳細を確認中です。

委員 寄附の多い使い道と、使い道の見直し予定は。

担当 上から子育て支援、町長におまかせ、酪農振興の順で、使い道は今後見直しを図る予定です。

●第2期中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

令和5年の実績報告として、若年層、なかでも20代・30代の女性の転出超過が大きな課題であると報告され

ました。

委員 人口の流出を防ぐことより、町内で頑張っている人にスポットを当て、町外からの人を呼び込むことが大切では。

担当 流入してもらええる仕組みづくりが必要と考え、検討を進めます。

経済部

●外国人財誘致推進事業について

令和6年10月にインドネシア訪問プロモーション、11月にキルギス・インドネシアの人材送出機関等を招へいし、視察や意見交換を実施したこの報告を受けました。

委員 町内でひっ迫する介護人材の送り出しは可能ですか。

担当 町内の介護事業者も参加し、受け入れについて説明を受けています。

建設水道部

●除雪事業について

昨年11月から2月17日現在の降雪量は、例年の半分以上で、これに関する予算の執行状況や除雪体制の報告を受けました。

委員 除雪後も片側交互通行になる箇所がありますが。

担当 まずは、車の通行を可能にするため車1台が通れるようにし、その後の状況を見ながら拡幅しています。

委員 スクールゾーンの対応は。

担当 北海道が行う排雪とも調整しながら、できるだけ早めのカット排雪を行っています。

委員会開催 1月23日

2月21日

(江口 智子 議員)

文教厚生常任委員会

活動レポート



町立病院

●管理運営について

令和6年12月末の経営状況の報告がありました。
10月からの診療収入が、昨年度と比較して増額している
ので今後の経営状況を注視していきます。

年度 (4～12月)	患者数（人）		診療収入（千円）		
	外来	入院	外来	入院	合計
令和5年度	14,071	3,367	1,182,578	1,375,408	2,557,986
令和6年度	14,388	3,497	1,144,777	1,410,927	2,555,704

町民生活部

●住民生活・環境衛生事業について

(1)中標津町外2町葬斎組合火葬場使用料改定について
白樺斎場は、近年の光熱水費・人件費等の高騰による影響が大きく、一体当りの経費約10万円の25%（基本的な手数料の受益者負担率）として、料金改定を行いたいとの説明がありました。

区分	現在の使用料（円）		改定案（円）	
	組合住民	以外	組合住民	以外
12歳以上(1体)	12,000	19,200	25,000	100,000
12歳未満(1体)	9,000	14,400	19,000	76,000
胞衣産わい物等(1件)	1,200	1,920	3,000	12,000

(2)根室北部衛生組合し尿等の受入に関する住民説明会の結果について

標津町の施設老朽化に伴い

3町（中標津・標津・羅臼）

のし尿等を中標津町下水終末

処理場に搬入処理する計画と

搬入路線について、明生地区

（約550戸）で10月6日（日）

に開催した住民説明会（参加

者16人）は、事業計画・搬入

路線に反対意見はなく「地域

の同意を得た」と考え、事業

を進めるとの説明がありました。

委員 参加者が16名の出席で

「地域の同意を得た」と考え

るのは無理があるので、今後

の問い合わせ等には丁寧に対

応してください。

●介護保険事業について

介護人材不足による事業運

営の影響と、今後の介護事業

が抱える諸問題について、介

護保険事業者協議会より2点

の提案があり、検討したいこ

の説明がありました。

①職員の資格取得・更新に係

る経費の全額助成

②介護事業所に外国人材確保

のため、雇用時の監理団体

等への費用を一部助成

●地域福祉・障がい者支援事業について

（仮称）中標津町手話言語

条例については、令和5年8

月に中標津手話の会等の関係

3団体から要望書の提出があ

り、「手話言語を考える懇談

会」が設置されました。

4回開催した懇談会の内容

と、本年9月定例会に条例制

定を目指すとの説明がありま

した。

教育委員会

●教育委員会所管施設・事務調査について

・学校施設等冷房設備整備事

業について

令和6年度補正予算（3月

定例会）により、小学校・義

務教育学校の設備工事を提案

したいとの説明があり、各学

校の教室へ設置するエアコン

の作動は、令和8年夏を予定

しているとの報告を受けまし

た。

委員会開催 1月22日

2月17日

（高橋善貞 議員）

令和7年1月から3月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
1月6日	新年交礼会	議長・議員	17日	文教厚生常任委員会	欠席1名
7日	中標津町二十歳のつどい	議長・議員		総務経済常任委員会	全委員
8日	中標津消防団出初式	議長	18日	釧根林活連絡会議研修会（釧路市）	高橋林活会長外3名
9日	議会広報特別委員会	欠席1名	19日	議会運営委員会	全委員
	（一社）中標津青年会議所新年交礼会	議長		3月定例会議件事前説明	正副議長・
10日	議会運営委員会	全委員			正副議長連委員長・
	議会広報特別委員会	欠席1名			二常任委員長
14日	中標津町商工会新年恒例懇談会	議長	20日	議会広報特別委員会	全委員
17日	中司てつお新春交礼会	議長	21日	総務経済常任委員会	全委員
20日	（一社）北海道中小企業家同友会南	議長外2名	25日	正副委員長会	二常任正副委員長
	しれとこ地区会新年交礼会		26日	議会運営委員会	全委員
21日	根室管内商工会連合会、町長・議会	議長	28日	中標津町外2町葬斎組合、根室北部	関係議員
	議長と商工会正副会長が新年を迎え			消防事務組合、根室北部廃棄物物処	
	語り合う会			理広域連合、根室北部衛生組合 各	
22日	文教厚生常任委員会	全委員		議会定例会	
23日	総務経済常任委員会（わんにゃん一	全委員	3月1日	中標津農業高等学校卒業証書授与式	議長
	家この懇談会含）			自衛隊入隊予定者激励会	長
24日	第1回臨時会	欠席1名	3日	総務経済常任委員会	委員
	全員協議会	欠席1名		文教厚生常任委員会	委員
	正副委員長会	二常任正副委員長		議会運営委員会	委員
25日	中標津地区連合会定期総会・新年交	副議長		3月定例会本会議（1日目）	委員
	礼会			全員協議会	委員
27～29日	文教厚生常任委員会道内視察研修	全委員	4日	3月定例会本会議（2日目）	委員
	（帯広市・美幌町・網走市）			予算審査特別委員会（1日目）	委員
29日	なかしべつ冬まつり雪像制作団体陣	議長	5日	予算審査特別委員会（2日目）	委員
	中見舞い		6日	文教厚生常任委員会	委員
2月1日	なかしべつ冬まつり開会式	議長	7日	総務経済常任委員会	委員
2日	総務経済常任委員会（北方領土返還	全委員	10日	予算審査特別委員会（3日目）	委員
	要求署名活動）		11日	予算審査特別委員会（4日目）	委員
3～5日	総務経済常任委員会道内視察研修	全委員		全員協議会	委員
	（中札内村・音更町・弟子屈町）		12日	議会運営委員会	委員
6日	中標津農業高等学校教育懇談会	議長外9名	13日	3月定例会本会議（3日目）	委員
7日	「北方領土の日」根室管内住民大会	議長外7名		全員協議会（防災力アップ講座含）	議長
	（根室市）			正副委員長会	二常任正副委員長
12日	北海道議会北方領土対策特別委員会	議長	14日	岩谷学園ひがし北海道日本語学校卒	議長
	意見交換会（根室市）			業式	
13日	北海道町村議会議員公務災害補償等	議長	18日	議会広報特別委員会	委員
	組合議会定例会（札幌市）		19日	議会広報特別委員会	委員
	北海道町村議会議長会理事会（札幌	議長	22日	伊東よしとか新春交礼会（釧路市）	議長
	市）		29日	鈴木貴子新春交礼会	議長
	北海道知事との行政懇談会	議長	29～30日	議会運営委員会オンライン研修会	委員

議会モニターの募集

令和7年5月16日（金）まで

中標津町議会では、議会の運営等に皆さんの要望や提言を反映させるため、議会モニターを募集しています。任期は令和7年6月から2年間です。人数は10人程度で選挙権のある町民を対象にしていますが、応募人数が超過した場合は選考させていただきます。

職務内容は、本会議・委員会等の運営に関する意見や議会だより・ホームページ・議会報告会に関する意見を文書で提出していただきます。また、議会議員と年1回以上の意見交換を行います。

本会議・委員会等の傍聴等では報酬はありませんが、意見交換の際は日当・交通費を支給します。

興味のある方は、中標津町議会事務局（TEL74-0912）へお問い合わせください。



議会だよりに対するご意見をお寄せください。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
中標津町議会事務局

TEL (0153) **74-0912** FAX (0153) **73-5333**

〈議会事務局にご連絡を〉

・ホームページは <https://www.nakashibetsu.jp> ・メールは gikai@nakashibetsu.jp



ご意見はこちらから

発行／北海道中標津町議会

編集／議会広報特別委員会